

平成29年度 若槻小学校 グランドデザイン

しなのきプラン29
し…視野の広い思いやりの心を育む
な…長野市(郷土)への誇りを育む
の…伸びる力を伸ばす
き…希望・夢・志を育む
目指す人間像
「グローバルな視野を持ちながら
ローカルに親しく生きる自立した18歳」

保護者と共に

- ・学級懇談、個別懇談などを通しての連携
- ・各種通信、ホームページでの情報の発信
- ・家庭学習と休みの過ごし方の充実に向けた取組
- ・「槻夢」等活発なPTA活動 充実した学校環境

学校教育目標

つよく きよく こころゆた
[強 く 清 く 心 豊かに]

地域と共に

- ・学校ボランティアを得ての教育活動の充実
- ・コミュニティーわかつきとの連携
- ・防犯パトロール、見守り隊 安全な生活
- ・外部機関と連携しての教育相談

つきっこ：槻の木のようにのびのび育つ

A 明るくいいき元気な子
重点『心も元気 体も元気』

B 根気よく自分から学ぶ子
重点『基礎学力を伸ばす』

C 人やものを大切にする子
重点『人とつながる』

1 気持ちの良いあいさつ・礼儀

- ・相手に伝わる良いあいさつ
- ・礼儀正しい行動 感謝の言葉
- ・挙手「はい」の返事

2 いじめのない学校

- ・アンケート等を使いいじめ予防
- ・児童との個別面談 ・児童理解

3 きまりを守り安全な学校生活

- ・落ち着いた学校生活
- ・若槻清掃、くつ揃え
- ・体力作り (マラソン、外遊び等)
- ・早寝早起き朝ご飯、生活リズム
食育、ネットマナー学習



1 授業改善 学力向上

- ・学習問題、課題の板書 授業改善
- ・「まとめ」「定着」の時間の重視
- ・NRT等学力検査の分析と対応
長期休み中の学習相談
- ・授業力向上のための授業研究日、研修

2 家庭学習 自主学習

- ・集中力、思考力を養う全校読書
- ・チャレンジタイムの充実
- ・一日の授業の振り返り
- ・家庭学習の充実、振り返り

3 支え合って学ぶ 共同学習

- ・ペアやグループでの学習
- ・表現活動(話し合い発表)の充実

1 地域とのつながり

- ・地域に出かけての活動
- ・地域の方を講師としての活動
(クラブ、生活科、総合 等)
- ・ボランティアの方から学ぶ

2 自治的な児童の活動

- ・なかよしグループでの活動
- ・行事における支え合い、協力
- ・地域清掃 若槻収集デー 等

3 将来の夢を大切にする学習

- ・夢を育むキャリア教育
- ・世界へと視野を広げる国際理解
教育(カナダ、イギリスの学校
との交流) 外国語活動(3~6)

若槻の素晴らしい伝統を受け継ぎ、それを継承し深化させていく。

加えて、喫緊の課題を取り込み、新たな取り組みへとつなげていく。

A 明るくいきいき元気な子

重点『心も元気 体も元気』

1 気持ちの良いあいさつ 礼儀

・気持ち良いあいさつ、・礼儀正しい行動 感謝の言葉 ・挙手「はい」の返事

- ハイタッチあいさつをして、元気に一日をスタートさせます。
- 学習の約束を教室に掲示し、どの学級でも大切に指導します。
- 礼節のある行動や感謝の言葉を大切に指導します。



2 いじめのない学校

・アンケートなどを使いいじめ予防 ・児童との個別面談 ・児童理解

- より良い学校生活アンケートなどを使って、児童の意見や気持ちを大切に聞き取ります。
- 児童相談週間を設け、その中で個別面談を行い、直接気持ちを聞き取ります。
- いじめの芽、友だち関係のきしみ調査などを職員で行い、いじめ防止に向けて取り組みます。

3 きまりよく 安全な学校生活

・落ち着いた学校生活 若槻清掃、くつ揃え ・マラソン、外遊びなどでの運動、遊びの日常化

・早寝早起き朝ご飯生活のリズム

- 生活のきまりにそって、児童会と連携しながら、安全で決まりよい学校になるように生活指導をします。
- 放送に合わせて、全校で静かに「若槻清掃」に取り組みます。
- 靴そろえやロッカーの整頓などを、児童自ら気づき行えるように繰り返し指導します。
- マラソン、外遊びなどで、運動や遊びの日常化を図れるようにし**体力向上**に取り組みます。
- 家庭と連携し、メディアの安全利用やしっかりとした食生活など、きまりよい生活作りに取り組みます。

(学校の取り組み)

取組 1 児童相談週間

- 1 学期、2 学期一度ずつ、学校生活アンケートなどのアンケートを使い、全員と面談を行う。
月曜日から金曜日の時間、朝の時間を使って廊下や学年室等で面談を行う。
待っている児童は読書を自習で行う。必要に応じ低学年には、図書委員会の児童が出向く。

取組 2 学習の約束の掲示

- 年度初めに、授業を受ける上での基本的な約束について確認し合い、教室掲示をする。
発言のルール、ノートの取り方など 職員会で情報交換する。

取組 3 マラソンなどの体力作り なかよし集会

- 2 時休みのなかよし集会 朝のマラソンなどの**体力作り**に年間を通じて行えるように計画する。

取組 4 ネットマナー講習、ノーメディアデー 生活チェック (来年度 実施へ)

- ネットマナーについての学習と家庭でのゲーム機やテレビなどの使用について家庭と連携して指導する。

B 根気よく、やる気をもって学ぶ子 重点『学習意欲・学力の向上』

1 授業改善 学力向上

- ・学習問題、課題の板書 ・「まとめ」「定着」の時間の重視 ・NRT等学力検査の分析と対応
- 長期休み中の学習相談 ・職員の授業力向上に向けた研究、研修

- 授業で行うこと（学習問題・課題）を黒板にしっかり書いて授業を行います。
- 授業の終末の場面でのまとめの時間を持ち、学習の定着を図れるようにします。
- 全国学テやNRTなどの結果を分析し、授業改善や補完指導に努めます。
- 長期休みを利用して、授業時間だけでは定着できなかった児童に対して、補習、補完指導（学習相談）を行います。
- 授業研究日や長期休みなどを使って、授業力改善に向けた研究、研修を行います。



2 家庭学習、自主学習

- ・集中力、思考力などを養う全校読書 ・チャレンジタイムの充実 ・一日の授業の振り返り ・家庭学習の充実

- 朝の全校読書や読書の時間を通し、本の世界に浸ると共に集中力、思考力を養います。
- チャレンジタイムで基礎基本の定着を図ると共に、その力を活用できるように努めます。
- 朝と放課後の学活で、一日のめあてとその振り返りの時間を持ち、目標を持って生活できるようにします。
- 家庭学習の手引きを活用して、学校での学習の予習復習や自主学習ができるように指導します。

3 支え合い学ぶ共同学習

- ・ペアやグループでの学習 ・表現活動（話し合い発表など）

- ペアやグループでの学習を取り入れるなど、協力して学ぶことができる場を大切にします。
- 授業の中で話し合いや発表などの時間を大切にして、思考力、判断力、表現力の育成に努めます。

(学校の取り組み)

取組1 授業研究 学校課題もふまえた研究 水曜日・金曜日等の90分を使って

- 教科研究の中に、本校の学校課題も盛り込み研究を行う。
 - ・思考力、判断力、表現力を身につける教科指導（学力向上）
 - ・小中連携を志向した外国語活動（小中連携）・体育学習（体力作り）・道徳の指導
- 授業から学ぶ 一人一公開授業 授業研究日
 - ・重点研究部会や学年会で、1，2学期を中心に、バランス良く公開を行う。

取組2 職員研修で授業力改善

- 水曜日の時間を活用した授業に生きる研修をすすめる。（NRT分析、授業作り研修、特別支援研修）
- 地域講師等をお願いし、長期休みを利用した研修（学校保健委員会、地域巡り、外国語研修など）

取組3 読書、チャレンジタイムを全校で取り組む

- 読書とチャレンジを全校体勢で行う。読み聞かせや活用問題への取り組みなど工夫して行う。
- 朝学活や帰りの学活で行うことの学年会等で情報交換を行う。一日のめあてと振り返りを行う。

取組4 家庭学習の手引きの活用

- 家庭学習の行わせ方について、情報交換を行い、計画表を使うなど、目標を持って家庭学習が行えるように、自主学習への取り組みもすすめる。振り返りの場を年度途中に設ける。

C 人やものを大切に思いやりのある子 重点『人とつながり学ぶ』

1 地域とのつながり

・地域に出かけての活動・地域の方を講師としての活動 クラブ活動・ボランティアの方から学ぶ・地域清掃、ゴミ拾い

- クラブ活動などで地域の方にお越しいただいたりして、地域人材を活用した指導をすすめます。
- 保護者、地域の方からボランティアを募り、教科指導や行事などの支援をいただき、安全で効率的な学習や活動を行ったり、環境整備などのお手伝いいただき校内の環境美化に努めたりします。
- 地域の清掃をしたり、地域の方々と交流したりすることで、地域を大切にすることを育てます。

2 自治的な児童活動

・なかよしグループでの活動 ・行事における支え合い、協力

- 異年齢のなかよしグループで、高学年が低学年をリードして学年を越えて仲の良い学校作りをします。
- 学年行事や学校行事で、係活動や班活動を行うことで、自ら行事を運営する力を育成すると共に、学年、学級の友だちと仲良くなるようにします。
- 登校班、下校班で登下校したり、地区の友だちと活動したりすることで、近くに住む友だちと仲良くなるようにします



3 将来の夢を大切に学習

・夢を育むキャリア教育・世界へと視野を広げる国際理解教育、カナダの学校との交流 ・英語チャレンジや外国語活動

- 一人一人の個性を大切に、自分の将来の夢や目標が持てるように、キャリア教育をすすめます。
- グローバルな視野の育成のために、カナダやイギリスの学校との国際交流や国際理解教育をすすめます。
- 英語チャレンジタイムや外国語活動（英語）を行うことを通して、外国語や外国の文化への関心を高め、意欲をもって活動を行えるようにします。
- 幼保、小中との連携を図り、職員相互の授業参観や交流などをすすめます。

(学校の取り組み)

取組1 わくわく（総合、生活科）の学習やクラブ活動などで外部講師の活用をすすめる。

- 年度当初、各学年の計画を立て、総合的な学習の時間や生活科等の時間として、わくわくを行っていく。引き続き、コミュニティースクールに係わる時間として位置づけたい。

取組2 英語チャレンジタイム（外国語の放送）木曜日のチャレンジの時間を使い、3～6年生で行う。

- 10分をイアン先生と一緒に、外国語活動を放送で行う。歌、ゲームなどで、英語を使って楽しむ。
- 3、4年生の外国語活動の取組、5、6年生の朝の時間でのモジュール学習を始める。

取組3 ホカ Ril 高校生徒との国際交流・カナダ、ダングスバレーモンテソーリスクールとの直接交流

- 学年一時間 ゲームや日本文化に触れる学習と一緒に取り組む。
- カナダ、ダングスバレーモンテソーリスクールからの児童の受け入れまたはカナダの訪問

取組4 6年生を中心としたキャリア教育の推進

- 6年生を中心に外部講師を招いて、キャリア教育に関わる学習を行う。

取組5 幼保、小中との連携 ○参観日や保育、授業研究会などへの参加をすすめる。交流活動についても計画して取り組む。